

のこはだあ  
あれ？

ハロウィンのお話



# あのこはだあれ？

## ハローウィンのお話

「トリックオアトリート！」

さやこは子ども会のみんなで、近所の家を回っていました。

そう、今日はハローウィン。みんな仮装して、おかしをもらうのです。さやこはリボンをつけた魔女の格好をして、ご機嫌で近所を回っていました。

ともこちゃんは、顔にメイクをして、ゾンビ風になっています。たかおくんは、がいこつがいしょう。思い思いの格好をした子どもたちがはりきっています。

近所の人も、にこにこしながら

「かわいいわね」

とかいいますが、

「だめだよ。こわがって」

とたかおくんが言い返すと、

「はいはいこわいこわい」

と言っておおかしをくれます。

「ねえ、さやこちゃん」

ともこちゃんが言いました。

「あのこだれかなあ」

うしろをみると、かぼちゃを頭からかぶって、あしのさきまであるくろいふくをきた子どもがつ

いてきています。

「え？すみちゃんじゃないの？いないじゃない」

「そうか。そうだね」

二人はなっとくしました。

子どもたちは、家々を回っていきます。

かぼちやをかぶった子どももついてきます。

さやこは、すみちゃんだとは思っていましたが、かぼちやの子は何もしゃべらないので、少しふしぎにおもいました。

さやこが、かぼちやの子に、ちかよってはなそうとすると、なんとなくかぼちやの子はきよりを置いてはなすのをいやがるのです。

おかしいな。なんだか、すみちゃんじゃないような気がしてきました。

じゃあ、あのこはだあれ？

さやこはおかしどころではなくなりました。

「ねえ、あのこだれ？」

みんなにきいても、

「さっきすみちゃんだっていったじゃないの」

とか

「すみちゃんにきまってるだろ」

とか言います。

そうこうしているうちに、全部の家を回りました。お菓子もいっぱいです。

子ども会のおじさんが、

「はい、ではおわりますよ」

と言った時、

「ねえ」

とかぼちやの子がいきなりさやこにはなしかけてきました。

「おかしちょうだい」

「ええ？いやだよ。あなただって、いっぱいもってるじゃない」

とさやこがいうと、

「じゃあ、私のおかしをあげる。わたし、たべられないから」

と言って、おかしをさやこにわたすとかぼちやの子はいなくなってしまうました。

さやこはぼうぜんとして、どうやって家に帰ったかよく覚えていませんでした。

家に帰ったら、お母さんが

「すみちゃんは、風邪をひいて参加できなくて残念だったわね」

と言いました。

ええ？

じゃあ、あのこはだあれ？

おかあさんはさやこをみて、

「あら、リボンがさかさまになっているわよ」

と言いました。さやこはリボンをかがみで見ておどろきました。

あとで、かぼちゃの子がくれたおかしの中を見て見ると、メモがはいていました。

『おかしくれないからいたずらしちゃった。楽しかったよ。ありがとう』